



はじめに

本市の水需要は、少子高齢化の進展、節水意識の高まりや、大口需要者の地下水への転換等を背景に減少傾向が続いています。また、水の安全性やおいしさに対する関心の高まり、危機管理や集中豪雨への対応など、上下水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、経営課題も多様化・高度化しています。

これらの課題に対応するため、平成28年4月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画」(平成28～32年度)に沿って、経営目標である「安全・安心で質の高いサービスを提供し、現行料金を維持する」に向けて着実に事業を進めています。

水道事業では、重点的に取り組む課題として、老朽管更新事業や地震対策事業を掲げています。これにより、水道施設の老朽化や自然災害による漏水事故を防ぎ、いつでも安心して水を供給できる体制を確保してまいります。また、平成28年4月に、宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託を開始するなど、新たな広域連携の推進に取り組んでいます。

下水道事業では、安全で安心な災害に強いまちづくりとしての豪雨対策や震災対策、環境未来都市の推進に寄与する下水道施設の低炭素化、豊かで快適な市民生活の維持・拡充に向けた施設の改築更新、合流式下水道の改善や近隣市町との広域化の検討などに取り組んでまいります。

海外事業では、ベトナム国において当局が開発したU-BCF(上向流式生物接触ろ過設備)普及事業、カンボジア国において水道拡張整備事業などに取り組んでおり、国内では、日明浄化センター管理棟(ビジターセンター)やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業や海外水ビジネスを推進してまいります。

また、市民にとって重要なライフラインである上下水道の、より一層、効率的・安定的な運営、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスへの対応のため、市が出資する外郭団体である株式会社北九州ウォーターサービスを平成27年度に設立し、平成28年度から事業を着実に履行するとともに、健全経営を維持しています。

今後も、これまで蓄積した技術やノウハウを活かし、積極的に各種事業に組み込み、お客さまに信頼される上下水道を目指してまいります。

ここに平成29年度版北九州市上下水道局事業概要を作成し、現状とこれまでの推移をまとめました。本市の上下水道事業をお知りいただくうえでの資料としてご活用いただければ幸いです。